

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東

コード番号 5563 URL <u>https://www.nippondenko.co.jp</u>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)青木 泰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名)田中 徹 TEL 03-6860-6800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無:有(補足説明資料は当決算短信に綴じ込んでいます)

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利	営業利益 経常利益 親会社株主 I 四半期		経常利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年12月期第3四半期	57, 864	2. 5	3, 159	△13.6	1, 368	△43.9	439	△71.5	
2024年12月期第3四半期	56, 476	△3.9	3, 658	38. 1	2, 437	112. 9	1, 539	107. 1	

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,234百万円 (△46.1%) 2024年12月期第3四半期 2,291百万円 (106.0%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2025年12月期第3四半期	3. 25	_
2024年12月期第3四半期	11. 21	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	94, 102	69, 829	74. 2
2024年12月期	102, 200	73, 677	72. 1

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 69,829百万円 2024年12月期 73,677百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2024年12月期	_	4. 00	_	7. 00	11. 00			
2025年12月期	_	5. 00	_					
2025年12月期 (予想)				7. 00	12. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

2025年12月期期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 1円00銭 (創業100周年記念配当)

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業和	営業利益		経常利益		主に帰属 純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	78, 200	_	5, 200	△24. 2	3, 000	△38. 3	1, 600	△49. 1	11. 65	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 有④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	137, 386, 472株	2024年12月期	137, 295, 472株
2025年12月期3Q	11, 471, 889株	2024年12月期	4, 281株
2025年12月期3Q	135, 289, 820株	2024年12月期3Q	137, 251, 087株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。上記の予想に関する事項につきましては、添付資料の11ページ「3. 補足説明資料」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1.	経常	営成績等の概況	2
	(1)	経営成績の概況	2
	(2)	財務状態の概況	2
	(3)	今後の見通し	2
2.	四 ≥	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期連結貸借対照表	3
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
		四半期連結損益計算書	
		第3四半期連結累計期間	5
		四半期連結包括利益計算書	
		第3四半期連結累計期間	6
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
		(会計方針の変更に関する注記)	7
		(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
		(セグメント情報等の注記)	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
		(継続企業の前提に関する注記)	10
		(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3.	補足	 	11
	(1)	連結業績	11
	(2)	事業別業績	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの経営成績等の概況については、添付資料11ページ「3. 補足説明資料」に記載しておりますのでご覧ください。

(2) 当期の財務状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ8,097百万円減少し94,102百万円となりました。流動資産は、在庫削減施策による棚卸資産などの減少により、前連結会計年度末と比べ8,097百万円減少し45,873百万円となりました。固定資産はほぼ横ばいの48,229百万円となりました。りました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金などが増加しましたが、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金などの減少により、前連結会計年度末と比べ4,249百万円減少し24,273百万円となりました。なお、有利子負債(短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、リース債務(流動負債)、長期借入金、リース債務(固定負債))は1,727百万円減少し15,348百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,848百万円減少し69,829百万円となりました。

(3) 今後の見通し

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年8月5日に「2025年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想からの変更はありません。また、今後の見通しについては、添付資料11ページ「3.補足説明資料」に記載しておりますのでご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 947	6, 133
受取手形及び売掛金	11,661	10, 849
商品及び製品	21, 032	15, 123
仕掛品	319	287
原材料及び貯蔵品	12, 629	11, 239
その他	2, 380	2, 240
流動資産合計	53, 971	45, 873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6, 955	7, 261
機械装置及び運搬具(純額)	11,007	10, 867
土地	5, 329	5, 329
リース資産 (純額)	2, 978	2, 851
建設仮勘定	415	589
その他(純額)	512	564
有形固定資産合計	27, 199	27, 464
無形固定資産	543	796
投資その他の資産		
投資有価証券	12, 255	12, 509
長期貸付金	5, 367	5, 273
退職給付に係る資産	1, 267	1,091
繰延税金資産	1, 327	825
その他	268	269
投資その他の資産合計	20, 485	19, 968
固定資産合計	48, 228	48, 229
資産合計	102, 200	94, 102

		(平位:日ガコ)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5, 787	3, 389
短期借入金	4, 000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	3, 564	2, 100
リース債務	170	180
未払法人税等	814	253
賞与引当金	268	741
役員賞与引当金	40	28
設備関係支払手形	1	6
その他	4, 170	4, 143
流動負債合計	18, 817	15, 842
固定負債		
長期借入金	5, 498	4, 336
リース債務	3, 843	3, 731
その他	363	362
固定負債合計	9, 705	8, 431
負債合計	28, 522	24, 273
純資産の部		
株主資本		
資本金	11, 108	11, 120
資本剰余金	17, 462	17, 474
利益剰余金	40, 457	39, 248
自己株式	$\triangle 1$	△3, 460
株主資本合計	69, 027	64, 383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,620	2, 509
繰延ヘッジ損益	0	· –
為替換算調整勘定	1,660	1,669
退職給付に係る調整累計額	1, 369	1, 266
その他の包括利益累計額合計	4,650	5, 445
純資産合計	73, 677	69, 829
負債純資産合計	102, 200	94, 102
7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	102, 200	01,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

		(単位:日刀円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	56, 476	57, 864
売上原価	47, 838	49, 290
売上総利益	8, 638	8, 574
販売費及び一般管理費	4, 979	5, 414
営業利益	3, 658	3, 159
営業外収益		
受取利息	168	53
受取配当金	67	86
物品売却益	177	84
その他	124	130
営業外収益合計	538	354
営業外費用		
支払利息	444	435
持分法による投資損失	748	1,036
固定資産除却損	402	335
その他	163	338
営業外費用合計	1,758	2, 145
経常利益	2, 437	1, 368
特別損失		
災害による損失	80	_
環境対策費	-	180
その他	<u> </u>	7
特別損失合計	80	187
税金等調整前四半期純利益	2, 357	1, 180
法人税、住民税及び事業税	439	655
法人税等調整額	378	85
法人税等合計	818	740
四半期純利益	1, 539	439
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 539	439

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(第3四半期連結累計期間)		
		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,539	439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	888
繰延ヘッジ損益	$\triangle 0$	$\triangle 0$
退職給付に係る調整額	△61	△102
持分法適用会社に対する持分相当額	832	9
その他の包括利益合計	752	794
四半期包括利益	2, 291	1, 234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2, 291	1, 234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。 従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源泉となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

当第3四半期連結会計期間において、富山工場(高岡地区)のリチウムイオン電池正極材の一部の製造受託契約が2026年3月で終了となることに伴い、契約終了後に利用見込みのない受託品製造設備について耐用年数を残存使用見込期間まで短縮し、将来にわたり変更しております。

この結果、従来の方法と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ67百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

									· · · · · · ·	· 🗆 /3 1/
			報告セク	゙メント					四半	四半期連結
	合金鉄 事業	機能材料事業	焼却灰資 源化事業	アクアソ リューシ ョン事業	電力 事業	計	その他 (注) 1	合計	調整額	損益計算書 計上額 (注) 2
売上高										
顧客との契約										
から生じる収	37, 183	9, 863	5, 844	1, 171	1,064	55, 126	1, 349	56, 476	_	56, 476
益										
外部顧客への	37, 183	9, 863	5, 844	1, 171	1,064	55, 126	1, 349	56, 476	_	56, 476
売上高	01, 100	3,000	0,011	1, 1, 1	1,001	00, 120	1,010	00, 110		00, 110
セグメント間	50		4			50	1.4	70	A 70	
の内部売上高 又は振替高	53	_	4	_	_	58	14	73	△73	_
計	37, 237	9, 863	5, 849	1, 171	1,064	55, 185	1, 364	56, 550	△73	56, 476
セグメント利益	30	727	1, 149	69	277	2, 255	182	2, 437	_	2, 437

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にその他子会社事業となります。
 - 2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

									\ I	. 11/2/11/
			報告セク	゛メント						四半期連結
	合金鉄 事業	機能材料事業	焼却灰資 源化事業	アクアソ リューシ ョン事業	電力事業	計	その他 (注) 1	合計	調整額	損益計算書 計上額 (注) 2
売上高										
顧客との契約										
から生じる収	36, 527	10, 924	6, 581	1, 227	1,007	56, 268	1, 596	57, 864	_	57, 864
益										
外部顧客への 売上高	36, 527	10, 924	6, 581	1, 227	1,007	56, 268	1, 596	57, 864	_	57, 864
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	68	_	_	_	-	68	14	83	△83	_
計	36, 596	10, 924	6, 581	1, 227	1,007	56, 336	1,611	57, 948	△83	57, 864
セグメント利益 又は損失 (△)	△1,883	1, 102	1, 517	59	267	1,063	305	1, 368	_	1, 368

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にその他子会社事業となります。
 - 2. セグメント利益又は損失 (△) の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

> 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

減価償却費 2,387百万円 2,644百万円

3. 補足説明資料

(1)連結業績

2024年 30累計 通期 売上高 565 782 24 経常利益 49 32 52 実力ベース経常利益※ 親会社株主に帰属する四半期純利益 15 31 11. 2 22.9 1株当たり四半期純利益(円)

2025年			
30累計	通期見通		
579	782		
14	30		
32	50		
4	16		
3. 3	11. 7		

(単位:億円			億円未満四捨五入)		
025年		前期比			
	通期見通		30累計	通期	
9	782		14	0	
4	30		Δ11	△19	
2	50		0	Δ2	
4	16		∆11	△15	
3	11. 7		△8.0	Δ11.3	

※実力ベース経常利益:在庫影響や一過性要因を除いた経常利益

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、合金鉄事業において昨年高騰したマンガン鉱石市況の下落 に伴う在庫影響等により、前年同期比11億円減益の14億円。在庫影響等一過性要因を除いた実力ベース 経常利益は、合金鉄事業が計画定修による減産、コスト上昇等により前年同期比減益となったものの、 機能材料事業における顧客の在庫調整解消による販売数量増加や焼却灰資源化事業における貴金属市況 上昇等による増益により前年同期並みの32億円。

通期の経常利益も同様の理由により前期比19億円減益の30億円、実力ベース経常利益は前期並みの50 億円を見込む。

(2) 事業別業績

売上高	2024年		
九工同	30累計	通期	
合金鉄事業	372	518	
機能材料事業	99	140	
焼却灰資源化事業	58	77	
アクアソリューション事業	12	16	
電力事業	11	14	
その他	13	18	
合計	565	782	

(単位:億円 億円	未満四捨五入)
-----------	---------

2025年					
30累計	通期見通				
365	495				
109	148				
66	87				
12	17				
10	14				
16	21				
579	782				

前期比				
30累計	通期			
Δ7	△23			
11	8			
7	10			
1	1			
Δ1	0			
2	3			
14	0			

経常利益		2024年		
小土 什	30累計	通期		
合:	0	11		
	うち国内	8	22	
	うち海外	△7	Δ11	
機能を	7	17		
焼却灰資	11	14		
アクアソリコ	1	1		
電力	3	4		
そ	2	2		
슫	24	49		

2025年				
30累計	通期見通			
△19	△15			
Δ8	△7			
△10	Δ8			
11	22			
15	17			
1	1			
3	3			
3	2			
14	30			

前期比				
30累計	通期			
△19	△26			
△16	△29			
Δ3	3			
4	5			
4	3			
0	0			
0	Δ1			
1	0			
Δ11	△19			

実力べー	2024年		
大力 へ	30累計	通期	
合金	6	11	
	うち国内		17
	うち海外	∆3	△6
機能を	10	20	
焼却灰資	11	14	
アクアソリコ	1	1	
電力	3	4	
そ	2	2	
4	32	52	

202	2025年				
30累計	通期見通				
Δ2	5				
5	13				
△7	Δ8				
12	22				
15	17				
1	1				
3	3				
3	2				
32	50				

前期比				
30累計	通期			
Δ8	△6			
△4	△4			
△4	△2			
2	2			
4	3			
0	0			
0	Δ1			
1	0			
0	△2			

(合金鉄事業)

国内合金鉄事業は、当第3四半期連結累計期間において計画定修による減産やコスト上昇等により、 実力ベース経常利益は前年同期比4億円減益の5億円。

通期の実力ベース経常利益も同様の理由により前期比4億円減益の13億円を見込む。

海外合金鉄事業は、製品市況の低迷継続や、天候不良による鉱山採掘不調等により実力ベース経常利益は前年同期比4億円減益の7億円の経常損失。

通期の実力ベース経常損益では前期比2億円減益の8億円の経常損失を見込む。

(機能材料事業)

当第3四半期連結累計期間は、電子部品関連では顧客の在庫調整解消により、酸化ジルコニウムや酸化ほう素の販売数量は前年同期と比べ増加。車載用電池材料関連では、リチウムイオン電池正極材は設備修繕のため販売数量は減少したが、水素吸蔵合金は増加。マンガン系無機化学品は、一部品種で大口ユーザーの需要低迷により販売数量は減少。フェロボロンは、需要が堅調に推移。その結果、実力ベース経常利益は前年同期比2億円増益の12億円。

通期の実力ベース経常利益においても前年比2億円増益の22億円を見込む。

(焼却灰資源化事業)

当第3四半期連結累計期間は、物価上昇等に伴うコスト上昇はあったものの、収益改善施策や溶融メタルに関連する市況が高位安定して推移したことにより、実力ベース経常利益は前年同期比4億円増益の15億円。

通期の実力ベース経常利益も同様の理由により前期比3億円増益の17億円を見込む。

(アクアソリューション事業)

当第3四半期連結累計期間は、排水処理装置及び純水製造装置の受注は前年同期比横ばいとなり、実力ベース経常利益は前年同期並みの1億円。

通期の実力ベース経常損益も前期並みの1億円を見込む。

(電力事業)

当第3四半期連結累計期間は、FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)を利用した売電事業として2カ所の水力発電所が順調に稼働。気象条件にも恵まれた結果、実力ベース経常利益は前年同期並みの3億円。

通期の実力ベース経常損益においても前期並みを見込む。

<参考指標>

欧州高炭素フェロマンガン市況(出典:Fastmarkets)

(単	1		φ	/±\
(卑)	М.	:	D)	/t)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2023年	1, 264	1, 153	1, 009	1, 026	1, 113
2024年	1, 153	1, 348	1, 341	1, 068	1, 227
2025年	1, 151	1, 202	1, 159		

米国高炭素フェロマンガン市況(出典: METALS WEEK)

(**単位**:\$/t)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2023年	1, 438	1, 425	1, 292	1, 179	1, 333
2024年	1, 217	1, 423	1, 567	1, 369	1, 394
2025年	1, 189	1, 332	1, 285		

マンガン鉱石市況 (出典:Fastmarkets)

(単位:\$/Mn%)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2023年	5. 6	4. 8	4. 4	4. 2	4. 8
2024年	4. 3	6. 7	7. 1	4. 1	5. 6
2025年	4. 6	4. 5	4. 2		

為替レート (単位:円/\$)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年	149	156	149	153	151
2025年	153	145	148		